



代表 新津 心み子

あけましておめでとうございます。

メイアイヘルプユーも、もう7期目を迎えました。医療・福祉サービスをめぐる環境の変化は急速です。私たちの生活は良くなってゆくのでしょうか。

一抹の不安を抱えつつではありますが、弊法人は設立10年を目指して、今年は新たな課題を検討する年となるでしょう。皆さまのご協力、ご支援をお願い致します。

JR五反田駅近くの事務所に、ぜひ顔を見せて下さい。

事務局長 要 厚子

新年もあっという間に半月が過ぎてしまいます。豪雪地帯の方々にはお見舞い申し上げます。

介護保険法の改正、介護サービスの情報公開と社会福祉サービスの分野ではまだまだ新しい動きが続いております。弊法人もこの動きを見据えながら、引き続き第三者評価や研修等の活動で微力ながらお役に立てますよう、努力して参ります。本年もお力添えをよろしくお願い致します。

皆さまのご健勝とご活躍を、心よりお祈り申し上げます。

事務局より、年頭のご挨拶

事務局 石井 まち子

新年おめでとうございます。

昨年11月に須藤さんが退職されたあと、須藤さんが座って仕事をしていた机で、第三者評価に関する仕事を担当しております。

何がなんだか分からないまま仕事を始めた10月から3ヶ月がたち、今は少し流れや内容などを考えられるようになりました。

代表や事務局長の、エネルギーに添えるにはまだまだ程遠いですが、自分なりにいい仕事をしたいと思っています。

メイアイヘルプユーにとりまして、今年も良い年でありますように。



事務局 大坪 小奈美

つつしんで、新年のお慶びをお祝い申し上げます。平素は弊法人の活動にご支援、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

早いもので、事務局に勤めさせて頂いて6年目を迎えようとしています。新大久保のマンションで、少人数で小ぢんまりと仕事をしていた頃を思うと、現在のようなゆとりある事務所で、大きいコピー機や高機能のパソコンに囲まれて仕事ができることは、夢のような出来事と思っています。これも一重に、皆さまのご協力、ご厚意の賜と感謝しております。本当にありがとうございます。



平成17年度 定時総会開催報告

12月22日、メイアイヘルプユース事務所において平成17年度の定時総会を開催しました。今回は例年に比べてひときわ寒い年末の、師走(多忙)な時期における開催となりましたが、当日は11名の正会員の方に出席頂き、今後の事業等について活発に意見交換し、またいろいろなアドバイスを頂きました。



【出席頂いた皆さん】

議案については、役員報酬の設定といった新しい議案も持ち上げりましたが、第1号(平成16年度事業報告及び決算報告)、第2号(平成17年度事業計画及び予算(案))、第3号(組織・体制に関する事項)全てにおいて無事、承認が得られました。

総会後の忘年会も盛り上がり、会員の方が作って下さったおにぎりをほおばりながら、「今年一番の出来事」「来年の抱負」を一人ずつ話しました。中でも、代表のコメント“今年一番の出来事は三日間の禁酒!”に皆さん大笑いでした。

また新たな年、年度の始まりです。今後ともよろしくお願い致します。

自主勉強会報告

今回は、会員であり原経営教育研究所代表でもある原啓次郎さんに担当をお願いし、「人材育成・管理のさまざまな方法、考え方のいろいろ」というタイトルでお話をいただきました。介護保険に関係するサービスの現場ではマンパワーの移動が激しく、サービスの水準を維持するための職員育成に大きなエネルギーを割き、このため、なかなか現場のサービスの向上が図れないなどという例を度々見聞きしていますので、このような内容としました。原さんからは、部下の管理、組織の原則、効果的な指導法、ほめ方・叱り方、命令の与え方、報告の仕方・受け方、リーダーシップと部下の育成、良い相談相手として等について、具体的なノウハウを伺い、参加者からは第三者評価の視点から見たサービス現場の人材育成、すぐ叱らなければならない場合のタイミング、中間・トップの研修内容等について質問や意見が出され、より一層内容の濃い勉強会となりました。次の機会には、人材育成に関する様々な手法や考え方についてご紹介頂きたいという注文を原さんをお願いして閉会としました。今回の勉強会は、17年11月1日(火曜日)午後6時30分より。参加者は14名で新潟から貝瀬さんが気分転換にと参加してくださいました。

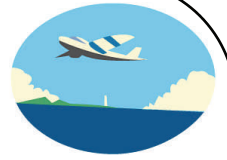
会員活動紹介

「NPO法人ベターライフ・スタイル」はメイアイヘルプユースの監事である大野弁護士が代表をされています。NPO法人の多くは小規模ですが、それぞれが特徴をもって活動しています。その個性を知ってもらうためにも、またお互いの法人の活性化を図るためにも、ネットワークづくりが大切です。今回は別紙にてベターライフ・スタイルの活動を紹介させていただきます。ぜひ関心をもって、アクセスして下さい。





～ ボストン研修 ～
ボストンで学んだケースマネージメント
(ケアマネジメント)



代表 新津 心み子

昨年の10月8日から15日までアメリカのボストンに行ってきました。19人の参加でしたが、メイアイの会員は9人参加し、その後1人が入会しました。紅葉の時期を狙って行ったのですが、今年は暖かい日が続き、紅葉が始まったばかりで、また曇りの多い日々でした。‘また来い’と言っているようでした（実際、再訪します）。

アメリカに介護保険制度はありません。また、先進国で唯一、国民全体をカバーする医療保険も無く、社会保障に関しては後進国、「低福祉、低負担」で知られる国、自己責任の国と言われています。社会保障のモデルは「高福祉、高負担」の国、北欧ともいわれ、サービスについても様々な取り組みが紹介されています。わが国はどうでしょうか、「中福祉、中負担」の国のようですが、介護保険や医療保険の改定のたびに保険料負担は跳ね上がっています。一方でサービスも増え、また充実してきていると言われていますが、今後はどうなってゆくのでしょうか。将来の社会保障をどうするのか、今、わが国は岐路に立っているように思えます。「介護地獄」とも言われるアメリカですが、専門職の役割を明確にし、責任を果たす仕組み、評価があたりまえの現場、利用者の社会的活動への積極的な参加など、わが国の状況をふり返る機会となりました。視野が広がったとでも言うのでしょうか。今回は、ケースマネージメント事業所（ケアマネジメントと同じ）の活動の一端を紹介します。

「ボストン シニア ホーム ケア」は、30人のケースマネージャーが雇われていて、60歳以上、2400人にサービスを提供しています。ケースマネジメントサービスの他、給食サービス、ホームケア（訪問介護）、居住場所の提供が主なサービスです。サービス提供のプロセスは、まず、専門のインテークワーカーが相談を受け付け、情報の提供だけでいいのか、サービスが必要なかを判断します。サービスが必要だと判断した利用者についてはソーシャルワーカーが訪問面接をし、その上で医療的な問題を持っていると判断した利用者についてのみ、看護師のケースマネージャーが訪問の上、医療的なサービスの必要性を判断するという役割分担で仕事をしています。そのような役割分担は利用者のニーズを適切に判断するための方策であり、また、専門以外の分野については専門家に任せる、責任を負わない、訴訟されないため等が理由ではないかと思いました。専門性が強く問われるのでしょうか、働いているソーシャルワーカーのバックグラウンドは大学の社会福祉の修士課程を卒業しているとのことでした。

一般に福祉の専門性は分かり難いと言われ、人柄や経験が重要視される傾向があります。反対ではないのですが、自分では判断が困難なことや、より適切な判断を要することは他の専門職に託す、又は連携することを“業”として捉えて実践するには、十分な知識、プライド、専門性への畏敬、倫理観等が必要です。それらをどのように培うのか、仕組みと支援体制はどのようにしたらいいのか、そしてチームで仕事をすることの重要性、適切性とは何かを今回の研修で考えさせられました。

メイアイヘルプユーの活動についてあてはめると、専門性を生かしつつ、また多くの方に専門性を活用してもらうためには、会員との協働と、他の法人や行政等とのコラボレーションを意識したNPOであることが課題であると教えられたように思います。

メンバーの欄

2005年認証番号は若葉マーク

三上 昌子

「これも出会いよ」。代表の一言があり、メイアイヘルプユーにお邪魔する日々が続いております。保健分野に近いようで奥の深い福祉の評価に携わるとは、退職時には考えもしませんでした、が無事？研修を終わり、野崎昌子さんと2名の登録をしていただきました。「見学研修をたくさん経験したい」と話したところ、事務局長から「いつまでやってもキリはないでしょう」とばっさり、甘さを見抜かれています。また、評価者にとって見えにくいことですが、全体の調整や資料準備・発送・分析・報告書作成など、日々追われている事務局を時に実感しています。

いざ実際の評価担当者として参加をしてみると、質問の平坦さ、思い込み、分からない文章、事実と意見の違い等、突きつけられることばかり。正真正銘の若葉マークです。絵画の本を読んでいましたら、児童絵画審査における〈創造的とする基準〉を次のようにあげていました。①概念的でない、②確固として自信にあふれている、③生き生きとして躍動的、④新鮮・自由、⑤迫力があるか又は幸福な感情にあふれていると。そして今、メイアイの創造的な先輩たちと刺激的な出会いがある事を感謝しています。第一線を切り開く困難さと喜びを共有するには遠いのですが、少しばかり風を感じております。皆さまどうぞよろしくご指導をお願い致します。（真っ当でない建設業界のニュースを聞きながら）



法人の活動になるべく多くの会員の方々にご参加いただけるよう努力しています。E-メールで皆様に発信できるのが、最も安価で早い方法ですので、アドレス、FAX番号をぜひともお知らせ下さい。勉強会への参加の呼びかけなど機会ある毎にお知らせすることができます。
事務局より



会報9号、10号と順調に編集部で頑張っ
て発行をしてきましたが、ついに11号では諸事情により発行が遅くな
ってしまいました。

編集長はじめ編集部員の気合も十分あるのですが、なにしろ多忙を極めた編集長と、今
ちョー忙しの部員たちでありまして、今回はご容赦ください。

もっと面白ネタを探して全国に取材ができるように来年は頑張りますのでこれからも、お楽しみにお待ちください。

C.KAWASAKI

めいあいこれまでのあゆみ

平成11年8月に設立総会を開催し、平成12年2月に東京都でNPO法人の設立登記を完了、活動を始める。設立から現在まで介護サービスの第三者評価事業(モデル実施→本格実施)を中心として、その他研修、コンサルティング、調査研究等の事業を実施している。平成18年1月17日現在の会員数は、個人会員95名

特定非営利活動法人メイアイヘルプユー会報
発行人：新津 ふみ子

〒141-0031 品川区西五反田2-31-9 シーバード 五反田401
TEL:03-3494-9033 FAX:03-3494-9032
E-mailアドレス: meiai@smile.ocn.ne.jp
HPアドレス: www12.ocn.ne.jp/meiai